

# でっかいやつ、捕った！

城北畑小4年

## 川の中の生き物探る



たも網を手に、川の中の生き物を探る城北畑小4年生  
=丹波篠山市瀬利で

地域の環境について学んでいる城北畑小学校4年生（23人）が8月30日、校区内を流れる畑川で川の中の生き物を調べた。児童たちは、生い茂るヨシの根元にたも網を突っ込み、網の中に生き物が入ると「やったー、

獲った」と歓声を上げていた。ドンコやムギツクなどの魚類をはじめ、ヒメガムシやミズカマキリなどの水生昆虫など合わせて25種類程度を確認した。

丹波篠山市内の学校園を対象に、環境学習推進を目的とした市の事業「エコ・ティーチャーのおもしろ環境講座」を活用。エコ・ティーチャーで篠山東雲高校理科教諭の

さん（54）と、同校自然科学部の部員4人が講師を務めた。児童たちは下半身まで水に浸かりながら腰をかがめ、水の中を凝視。水草の根元や岩陰にたも網を入れたり、大きな石をひっくり返したりして捕

獲した生き物は、中州に用意した水槽やバットの中に種類ごとに入れ、さんや部員から名前や生態などを教わった。部員たちはアカハライモリをつまみ上げ、「雄の見分け方は、雄はしっぽの幅が広く、繁殖期（12―7月）には婚姻色といって、青みがかったりくる。お尻も雄の方がもこっとしている」など

と説明していた。小魚とエビをたくさん捕まえたという児童のさんは、「予想以上にたくさん種類の生き物がいてびっくり」と驚き、「水草の根元と石の下を狙い目やで」と笑顔を見せていた。

2023年9月10日

丹波新聞